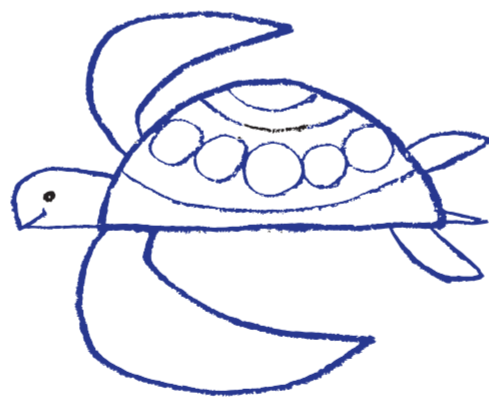


北限のアカウミガメ みまもりブック



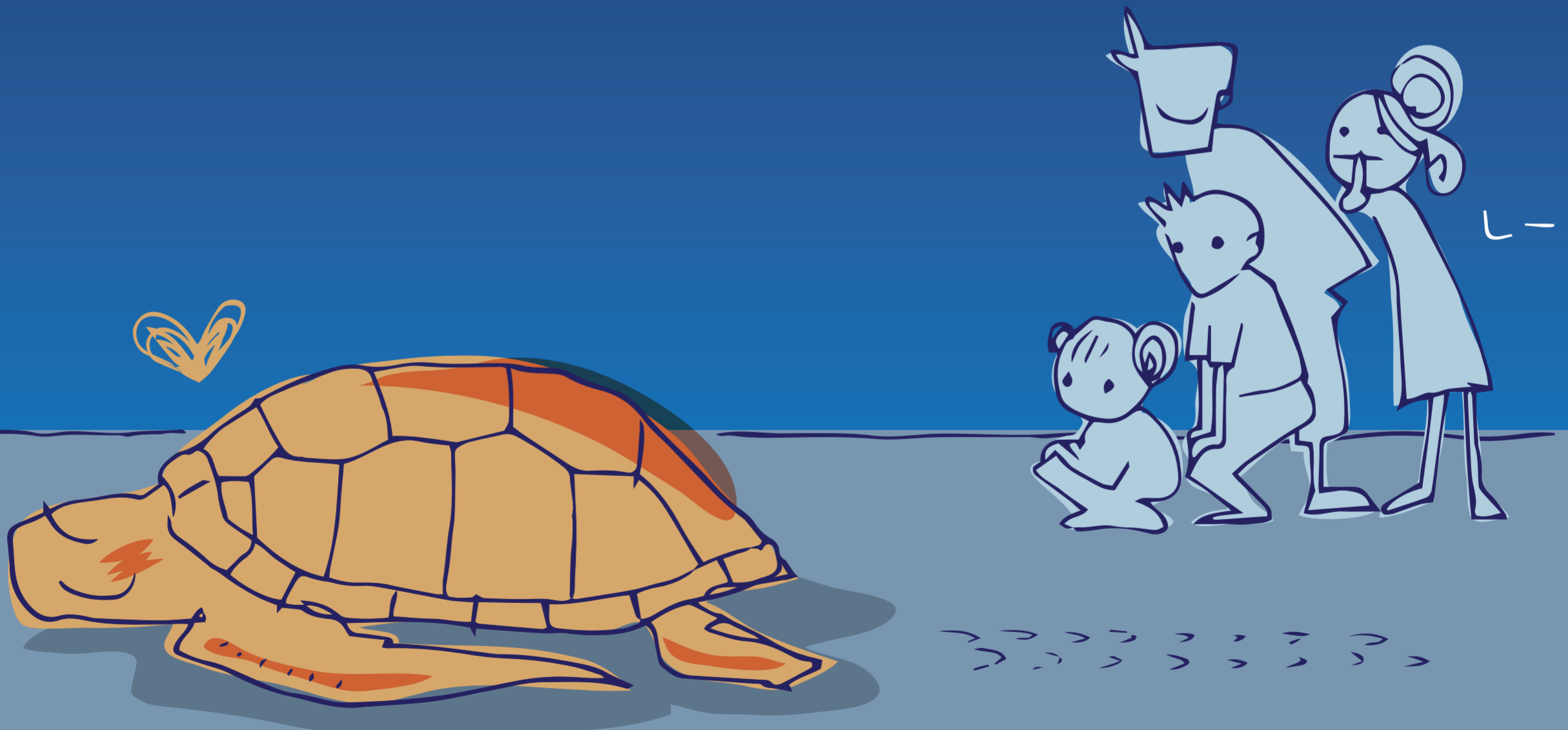
一宮ウミガメを見守る会

©2019 ichinomiya sea turtle association

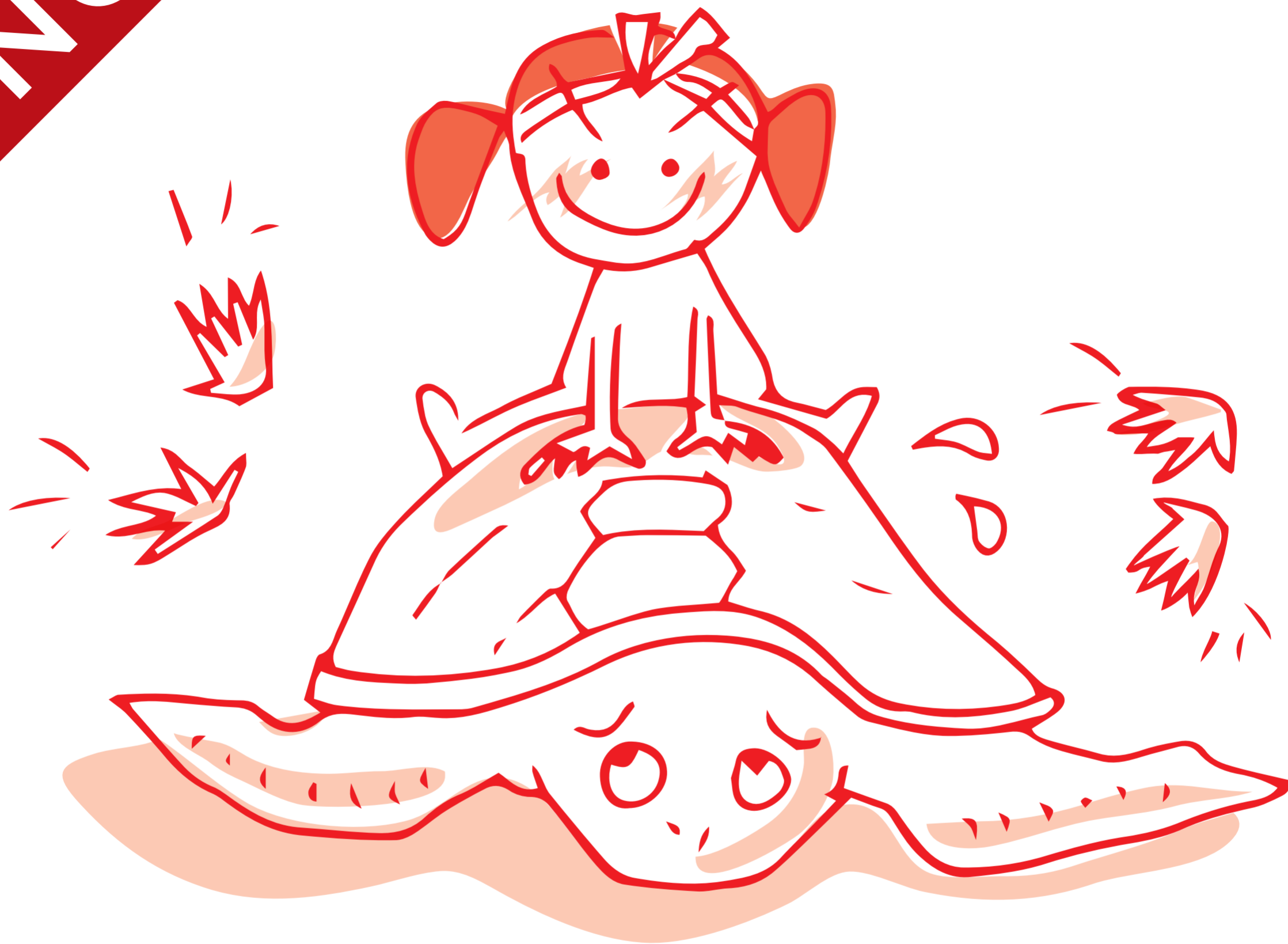
母ガメ・産卵編

お母さんガメは夏の夜に上陸し、
砂浜に産卵します。

平均 100~120 個の卵を砂の中に産み、
夜明け前には海に帰っていきます。出会えたら奇跡。
うしろから静かに見守りましょう。

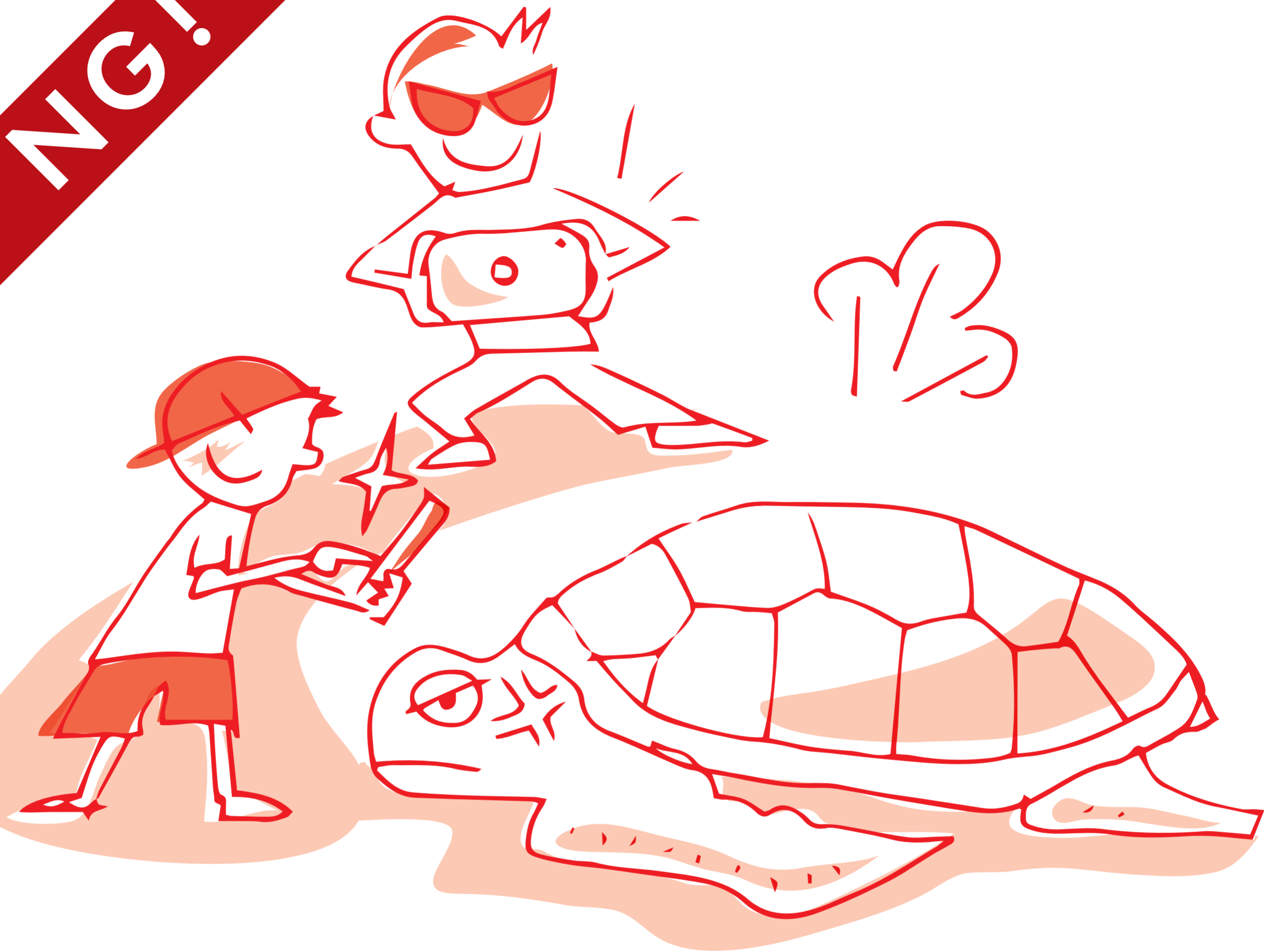


NG!



乗らないで。
さわってもいけません。

NG!



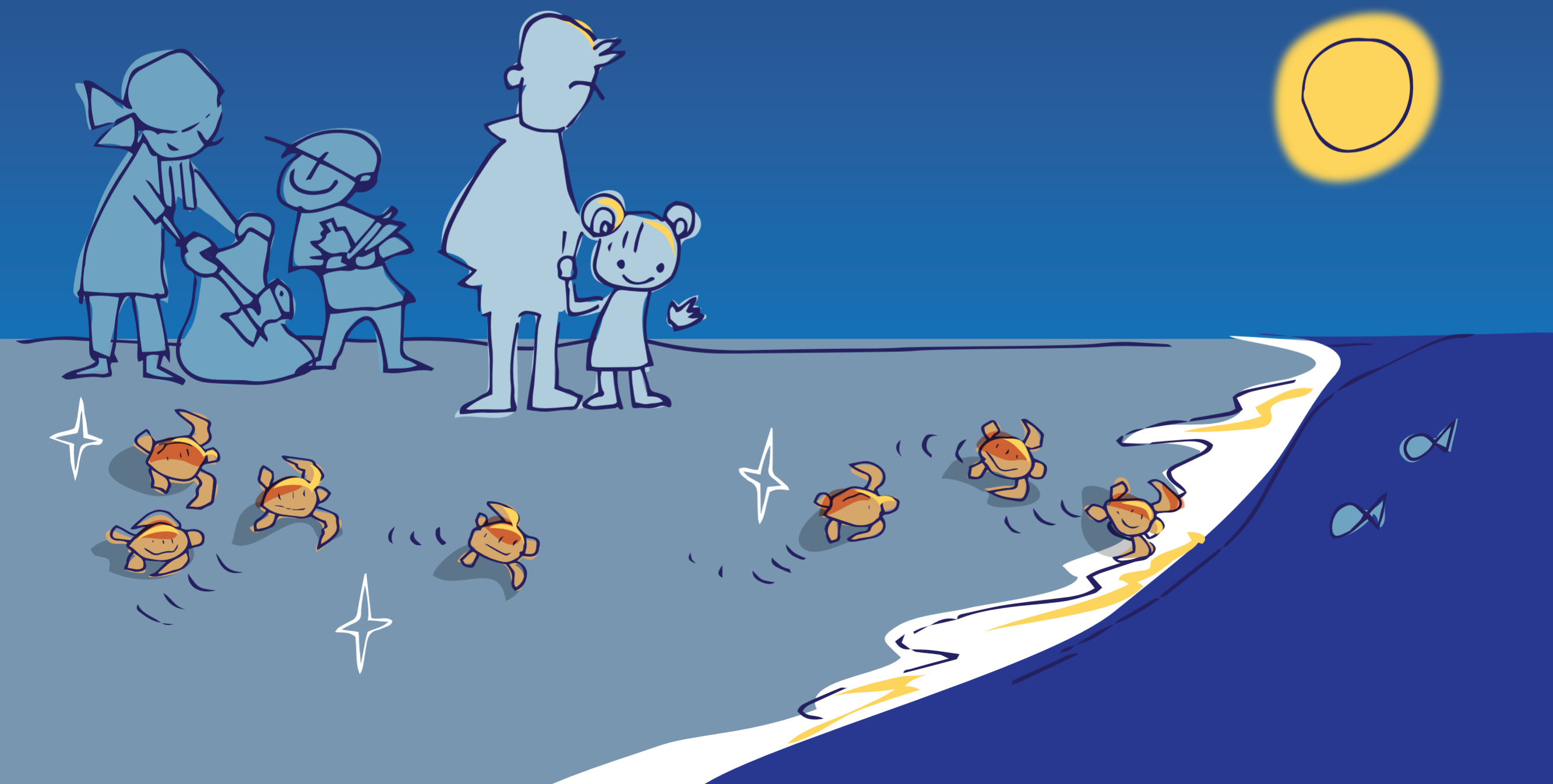
前に立たないで。

カメは前にしか進めません。

子ガメ・脱出編

生まれた子ガメたちは砂から脱出し、
ひろい海へと旅立ちます。

砂の熱で温められた卵は約 2 ヶ月後に孵化します。
子ガメたちが無事に海までたどり着けるよう、障害となる
ものを取りのぞき、手を出さずに見守りましょう。



NG!



砂浜をきれいにしよう。

遊んだあとは砂の山やくぼみを元に戻し、ゴミは持ち帰りましょう。

NG!



強い光を出さないで。

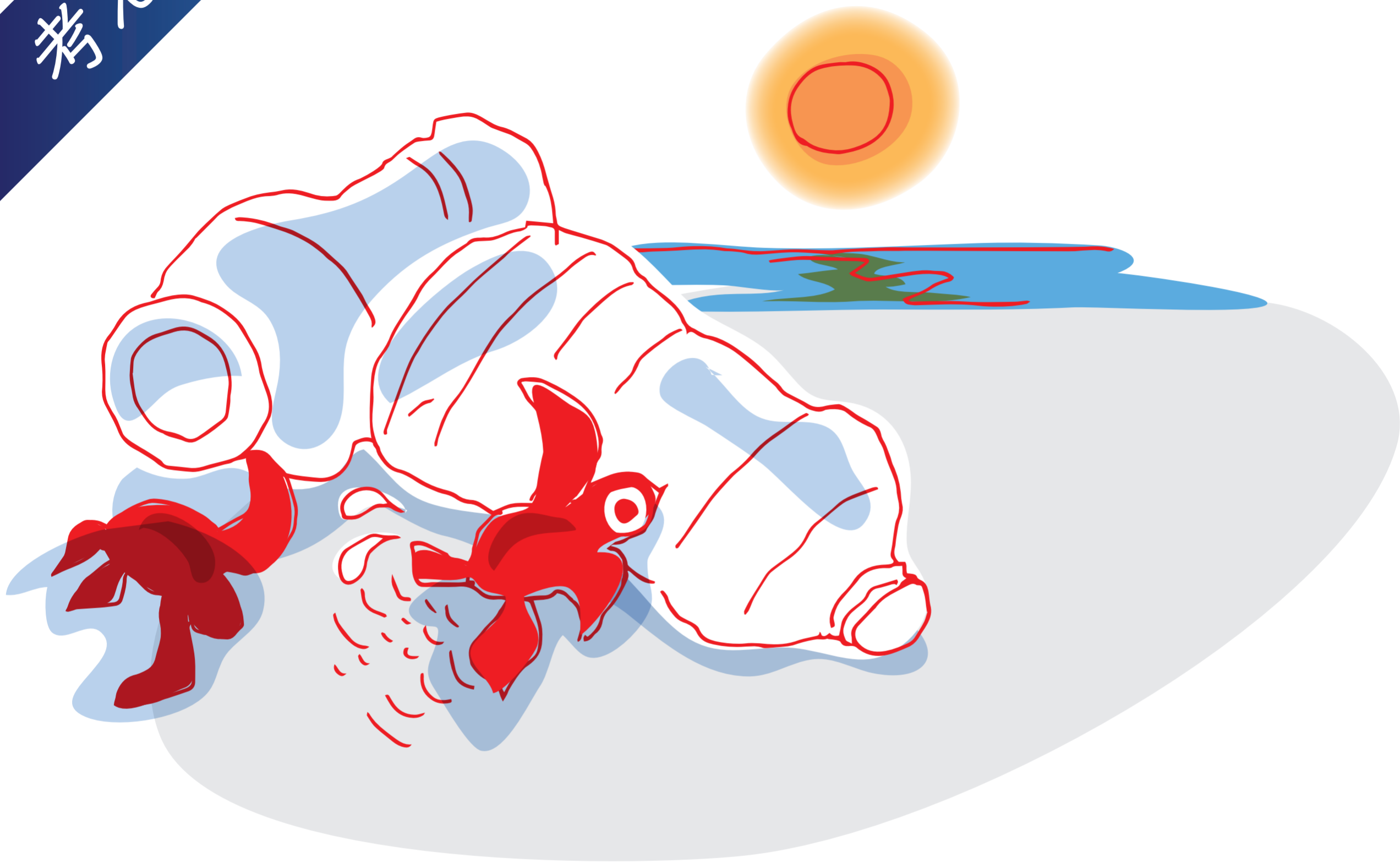
明るい光に引きよせられ、子ガメが海にたどりつけません。

考えよう



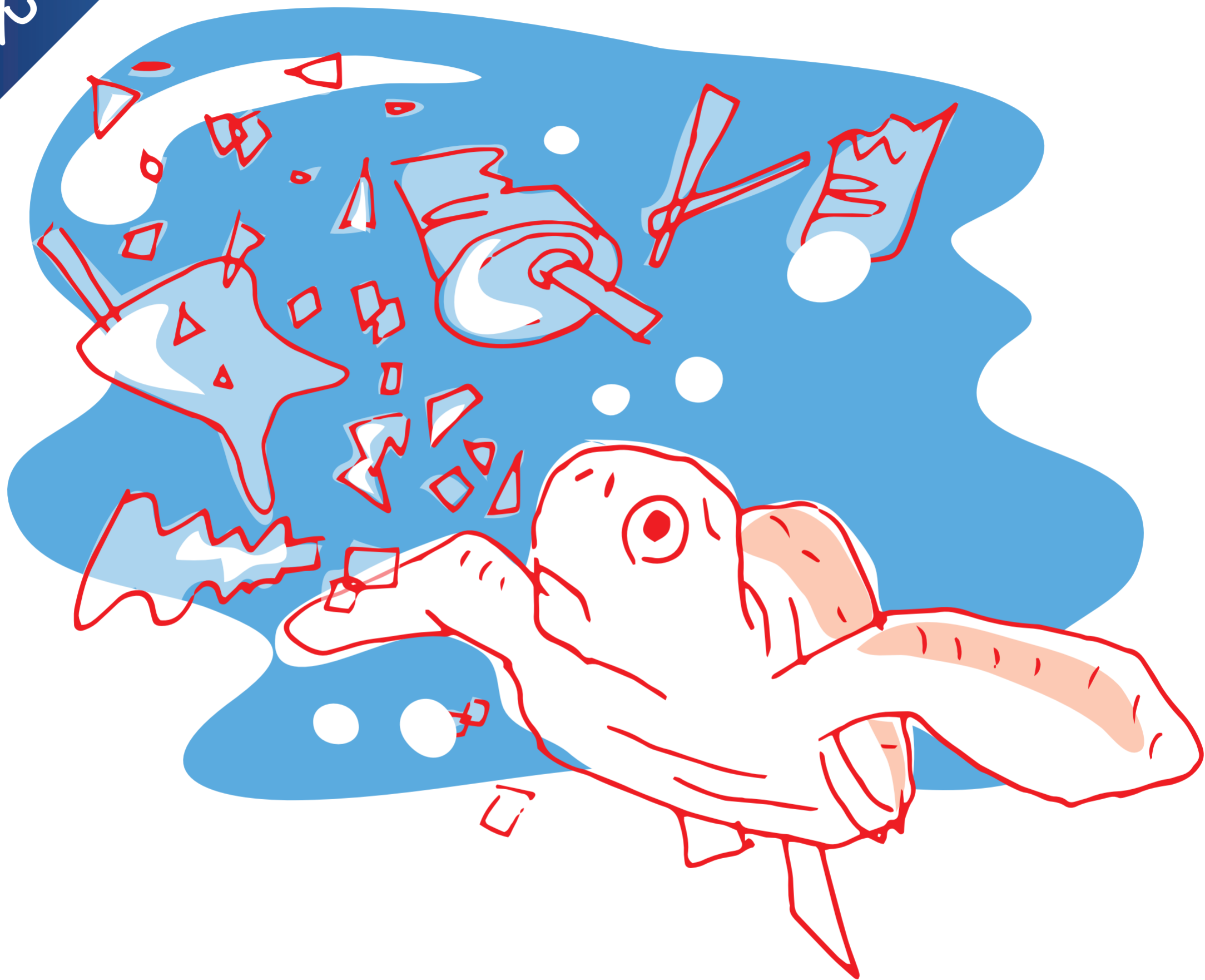
増え続けるゴミによって、ウミガメの命が危険にさらされています。



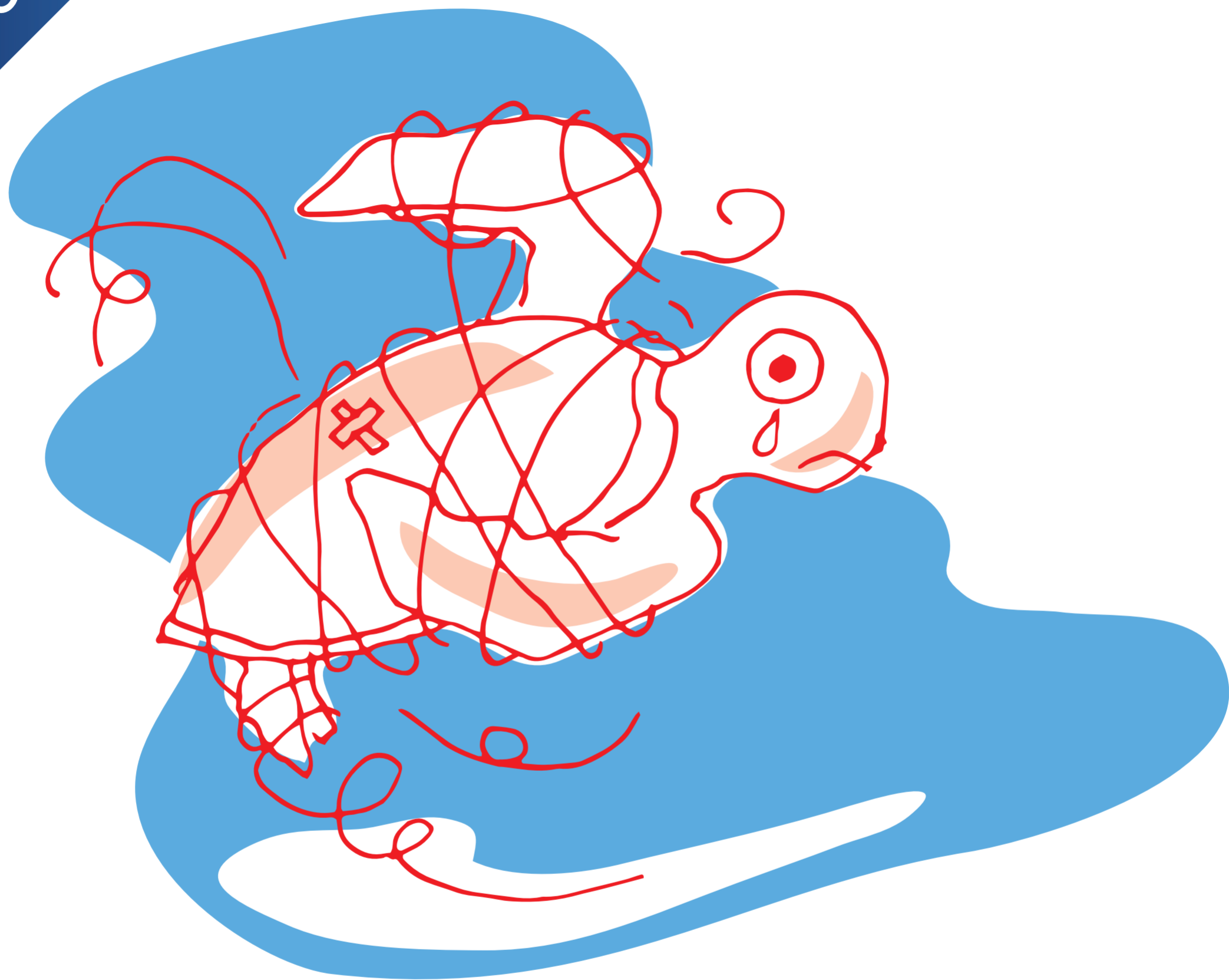


脱出のとき、ゴミを乗り越えられず
死んでしまう子ガメがいます。

考えよう



消化できないプラスチックゴミを、
海の中で食べてしまうことがあります。



ゴミにからまって死んでしまう
ウミガメも増えていきます。

「人」が原因で、アカウミガメが絶滅と
ならないように心がけたいものです。

生き物の生態をまもることは、
私たち人間にとって、よき生活環境を
つくることでもありますね。

(END)